

---

2020年度第2四半期決算 及び  
2020年度業績見通し

---

説明資料

帝人株式会社  
2020年11月2日

# 帝人グループ業績（販売）へのCOVID-19影響

前回公表時と比較し2Qが想定以上の回復

時期	業績影響（前四半期対比） [ ] 内、前回公表時前提	具体的影響
第1四半期 (4-6月) 実績	期初公表対比落ち込み幅大	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米自動車Tier1事業は当初OEM生産大幅減による影響を大きく受けたが、四半期後半は回復傾向</li> <li>より川上に近い素材関連分野では前半はサプライチェーンにおける在庫確保のための需要があり、後半に影響が遅れて発現</li> </ul>
第2四半期 (7-9月) 実績	<b>想定以上の回復</b> [底打ち（回復遅れ）]	<ul style="list-style-type: none"> <li>北米自動車Tier1事業は想定より早い回復</li> <li>航空機向け需要は想定以上に減少</li> <li>医療用防護具（ガウン等）は想定を上回る業績貢献</li> </ul>
第3四半期 (10-12月) 見通し*	2Q回復により回復の傾きは鈍化 [緩やかな回復]	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回公表と同様に自動車を中心に回復傾向が継続</li> <li>航空機向け需要は低迷が継続</li> </ul>
第4四半期 (1-3月) 見通し*	回復継続するが収束に至らず [同上]	

\* IMF世界経済見通し（Oct. 2020）及び自動車や航空機の市場動向を参考に作成

## 主要市場別動向（2020年度）

市場	主な事業	主な地域	1Q実績	2Q実績	下期見通し	備考
自動車	アラミド 複合成形材料	欧州 米国	需要大幅減	北米SUV/ピックアップトラックの急回復	回復継続 <sup>*1</sup> (北米は横ばい)	米国のSUV/ピックアップトラックは2Qで急回復、欧州も2Q以降回復
航空機	炭素繊維	欧州 米国	需要大幅減	さらに減少	低調継続 <sup>*2</sup>	航空機需要の低迷長期化で中期的に厳しい状況継続
ヘルスケア	医薬品 在宅医療 新規ヘルスケア	日本	堅調	堅調維持	堅調維持 <sup>*2</sup>	主力医薬品の販売や在宅医療機器レンタルは堅調に推移
医療用防護具 (ガウン等)	繊維・製品	日本	逼迫した医療現場への早期大量供給ニーズ	供給ニーズの継続	需給バランスが緩和 <sup>*2</sup>	継続的にニーズはあるも需給バランスが緩和
IT	IT	日本	好調	好調	好調継続 <sup>*2</sup>	巣ごもり需要で電子コミック配信サービスが拡大

\*1：IHSマクキット予測(2020年9月) \*2：自社推定

## 今回公表のポイント

2Q累計（上期）実績、通期業績見通しともにマテリアル事業がCOVID-19影響を大きく受ける一方、繊維・製品事業の医療用防護具（ガウン等）の供給量拡大が特に上期業績に貢献  
ヘルスケア事業はCOVID-19影響が軽微であり、業績が底堅く推移。IT事業も好調

### ■上期実績

- 売上高は前年同期対比10%減の3,941億円、営業利益は同8%減の311億円
- マテリアル事業はCOVID-19影響を受けたが、2Qは黒字化
- 繊維・製品事業の医療用防護具（ガウン等）の貢献大

### ■通期業績・配当見通し

- 2Q累計実績を踏まえ、通期売上高・営業利益・当期純利益予想を上方修正
- マテリアル事業は下期黒字化により通期で損益均衡の見通し
- 年間配当は50円/株の見通し（中間配当は25円/株）

- 
1. 2020年度第2四半期決算 P. 5
  2. 2020年度業績見通し P.13
  3. 参考資料 P.22

---

見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料は2020年11月2日午前11時30分に公表した弊社決算に基づくものです。

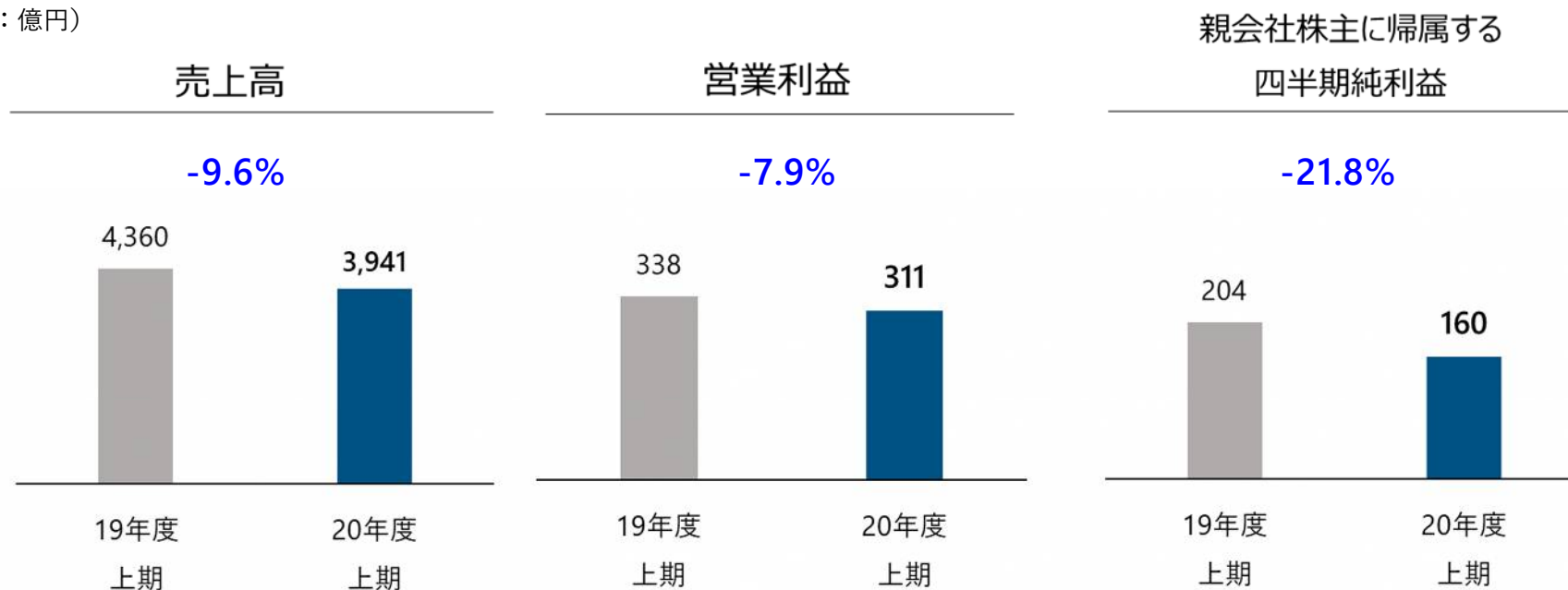
---

# 1. 2020年度第2四半期決算

## ◆ 実績ハイライト [前年同期対比]

- COVID-19影響下、繊維・製品事業で医療用防護具（ガウン等）の供給拡大による売上貢献があった一方、マテリアル事業での自動車・航空機用途の需要減、ヘルスケア事業における薬価改定影響があり、全体として減収
- 営業利益は、マテリアル事業において大幅減益なるも、繊維・製品事業における医療用防護具（ガウン等）の貢献、堅調なヘルスケア事業やIT事業の好調持続により減益幅を縮小
- 四半期純利益の減少については、マテリアル事業の海外子会社の収益悪化に伴う税負担率の上昇影響あり

(単位：億円)



## ◆ 実績サマリー [前年同期対比]

	(億円)			
	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
売上高	4,360	3,941	-419	-9.6%
営業利益	338	311	-27	-7.9%
営業外損益	-7	-9	-2	-
経常利益	331	302	-29	-8.7%
特別損益	-41	-25	+16	-
税金等調整前 四半期純利益	290	277	-13	-4.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	204	160	-44	-21.8%

ROE <sup>*1</sup>	10.0%	7.9%	-2.2%
営業利益ROIC <sup>*2</sup>	10.1%	9.5%	-0.6%
EBITDA <sup>*3</sup>	588	567	-21

\*1 「親会社株主に帰属する四半期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

\*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出

(投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金)

\*1,2は年換算後の数値

	(億円)			
	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
設備投資 <sup>*4</sup>	296	283	-13	-4.3%
減価償却費	251	257	+6	+2.4%
研究開発費	164	149	-15	-8.9%

## ◇ 為替・原油価格

		19年度 上期	20年度 上期
PL換算レート	円/米ドル	109	107
	円/ユーロ	121	121
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		64	37

\*3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

\*4 設備投資には無形固定資産を含む



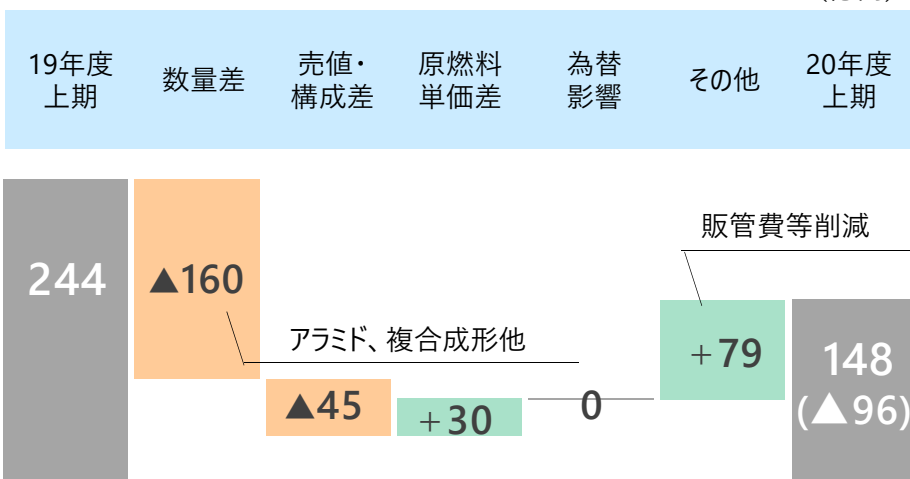
## ◆ マテリアルセグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
売上高	1,715	1,263	-452	-26.4%
EBITDA	244	148	-96	-39.3%
減価償却費	142	153	+11	+7.9%
営業利益	102	-5	-107	-
営業利益ROIC	7%	-0%	-7%	

## &lt; EBITDA増減内訳 &gt;

(億円)



## COVID-19の影響大

## ■ アラミド繊維

- タイヤ補強材、摩擦材などの自動車関連や光ファイバーを中心に、用途全般において販売量が減少

## ■ ポリカーボネート樹脂

- ノートパソコン向けの特需はあったものの、事務機用途や自動車用途での需要減により、販売量が減少
- 販売価格において市況価格下落の影響を受けたものの、業績は底堅く推移

## ■ 炭素繊維

- 航空機用途において販売量が大幅減
- 中間材料開発や米国新工場建設等の先行投資継続

## ■ 複合成形材料

- SUV・ピックアップトラックを始めとする米国自動車市場の急回復に伴い、第2四半期における自動車部品の生産・販売が大幅に改善

全般的に活動抑制による販管費等削減により赤字幅を縮小

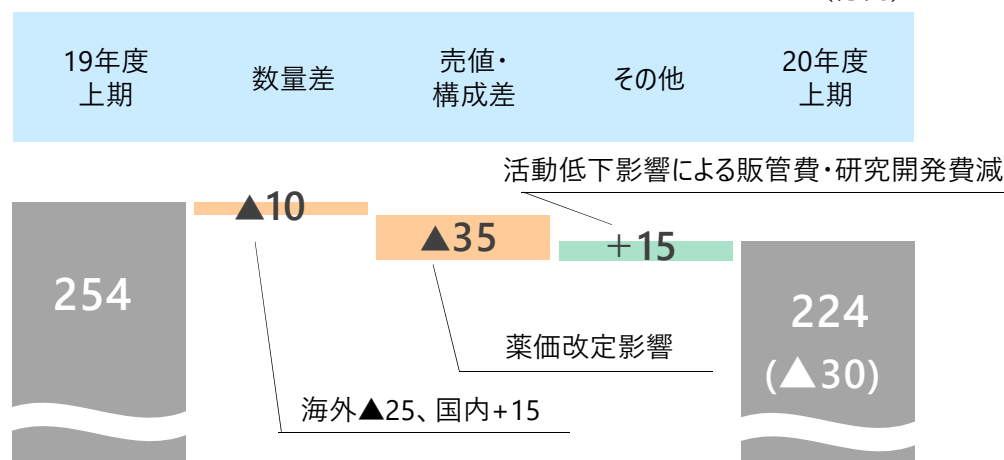
## ◆ ヘルスケアセグメント [前年同期対比]

COVID-19の影響は軽微

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
売上高	789	730	-59	-7.5%
EBITDA	254	224	-30	-11.8%
減価償却費	59	59	-0	-0.7%
営業利益	194	165	-29	-15.2%
営業利益ROIC	47%	42%	-5%	

## &lt; EBITDA増減内訳 &gt; (億円)



## ■ 医薬品

- 高尿酸血症・痛風治療剤「フェブリク」を中心に国内での2020年4月の薬価改定の影響を受けた
- 「フェブリク」や先端巨大症・下垂体性巨人症/神経内分泌腫瘍治療剤「ソマチリン\*」の販売量は順調に拡大

## ■ 在宅医療

- 睡眠時無呼吸症候群治療におけるCPAP市場において、COVID-19影響による受診抑制に伴う入院検査数の減少は回復の兆しがみられ、レンタル台数の増加が継続
- 在宅酸素療法（HOT）市場においては、病院内の感染回避のため在宅医療導入が選択されるケースが増加し、レンタル台数が増加

## ■ 新ヘルスケア

- 人工関節・吸収性骨接合材等の埋め込み型医療機器事業はCOVID-19影響による手術延期の影響があったものの、第2四半期末にかけて回復

\*ソマチリン®/Somatuline®は、Ipsen Pharma（仏）の登録商標です

## ◆ 繊維・製品セグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
売上高	1,542	1,581	+39	+2.5%
EBITDA	62	158	+96	+153.8%
減価償却費	34	31	-3	-8.8%
営業利益	28	127	+99	+353.2%
営業利益ROIC	4%	18%	+15%	

## ◆ ITセグメント [前年同期対比]

(億円)

	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
売上高	231	286	+55	+23.7%
EBITDA	41	52	+11	+26.9%
減価償却費	4	4	-0	-9.2%
営業利益	36	48	+11	+31.0%
営業利益ROIC	44%	58%	+14%	

## ■ 繊維・製品

- COVID-19拡大により需要が急増した医療従事者向け医療用防護具（ガウン等）の早期大量供給が、業績に大きく寄与
- 水処理膜向けのポリエステル短繊維の販売が好調維持
- テキスタイル、重衣料および自動車関連部材は苦戦
- 活動低下や経費削減努力で販管費減少

## ■ IT

- ネットビジネス分野の電子コミック配信サービスは、読者層の拡大が継続し、引き続き好調に推移

## ◆ 営業外損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	19年度 上期	20年度 上期	差異
受取利息	5	4	-1
受取配当金	8	7	-1
持分法による投資利益	11	13	+3
為替差益	19	-	-19
その他	3	9	+6
営業外収益 計	47	34	-13
支払利息	19	15	-4
為替差損	-	2	+2
デリバティブ評価損	21	14	-6
その他	14	11	-3
営業外費用 計	53	42	-11
営業外損益 計	-7	-9	-2

## ◆ 特別損益 [前年同期対比]

	(億円)		
	19年度 上期	20年度 上期	差異
投資有価証券売却益	38	3	-35
その他	5	2	-4
特別利益 計	44	4	-39
固定資産除売却損	11	5	-6
投資有価証券評価損	-	14	+14
減損損失	20	4	-15
事業構造改善費用	44	1	-43
その他	10	5	-5
特別損失 計	85	29	-55
特別損益 計	-41	-25	+16

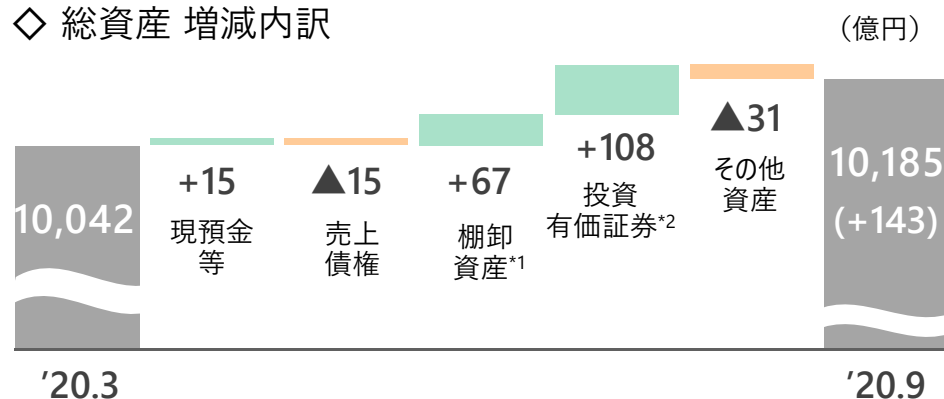
## ◆ 財政状態 [前年度末対比]

				(億円)	
	20年 3月末	20年 9月末	差異	内 為替 換算影響	
総資産	10,042	10,185	+143	+24	
負債	5,928	5,837	-91	+5	
(内 有利子負債)	3,819	3,873	+53	-5	
純資産	4,114	4,348	+234	+19	
D/Eレシオ	0.97	0.93	-0.04	-	
現預金等	1,565	1,580	+15		

## ◆ キャッシュ・フローの状況 [前年同期対比]

				(億円)	
	19年度 上期	20年度 上期	差異		
営業活動	416	319	-97		
投資活動	-487	-336	+151		
フリー・キャッシュ・フロー	-71	-17	+54		
財務活動他	211	31	-180		
現金及び現金同等物増減	140	14	-126		

## ◇ 総資産 増減内訳



## ◇ BS換算レート

	20年 3月末	20年 9月末
円/米ドル	109	106
円/ユーロ	120	124

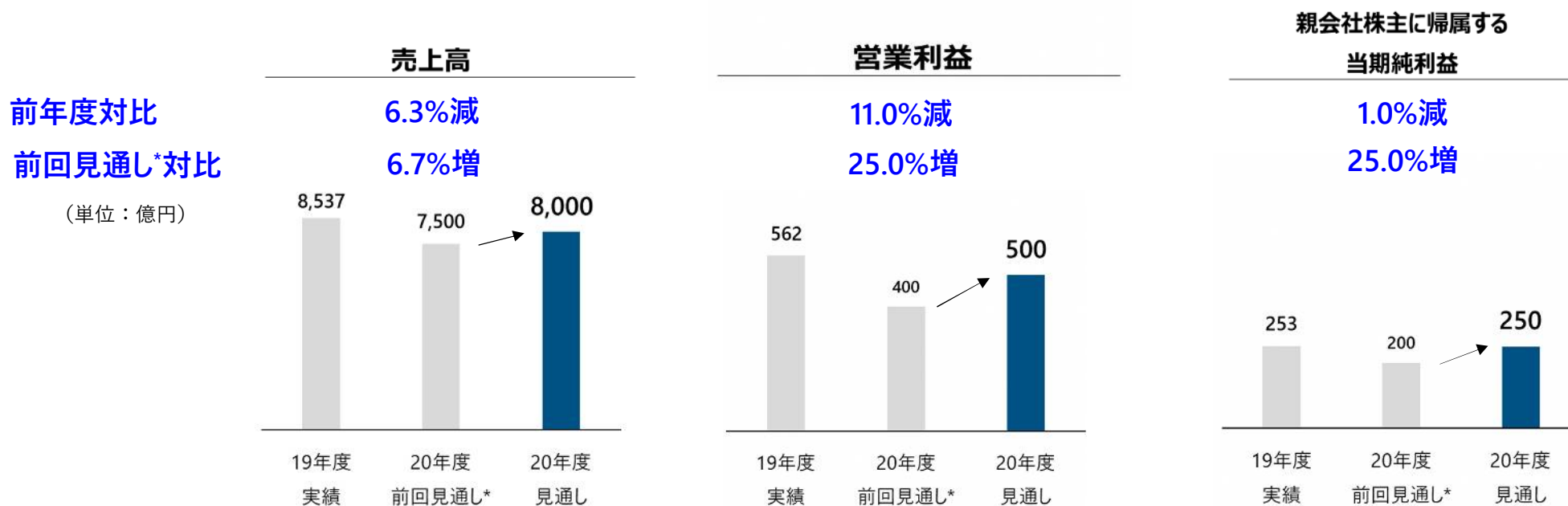
\*1 アラミド、炭素繊維等でサプライチェーン保全のための1Qでの在庫積み増しに対し、期末に向けて水準を適正化予定

\*2 保有株式時価の上昇等

## 2. 2020年度業績見通し

## ◆ 通期業績見通しハイライト [前年度対比、前回見通し\*対比]

- 前年度対比、マテリアル事業におけるCOVID-19影響やヘルスケア事業における薬価改定影響により、減収・減益の見通し
- 前回見通し対比、医療用防護具（ガウン等）の想定を上回る供給と、自動車市場の回復を踏まえ、売上高・利益ともに上方修正
- 当期純利益は、海外子会社の収益悪化に伴う税負担率の上昇を受けた水準に



\* 2020年8月5日公表

## 前提条件

		19年度	20年度 前回見通し*	20年度 見通し
通期平均為替レート	円/米ドル	109	108	106
	円/ユーロ	121	120	123
原油(Dubai)価格 (米ドル/バレル)		60	38	41

◆ 配当見通し

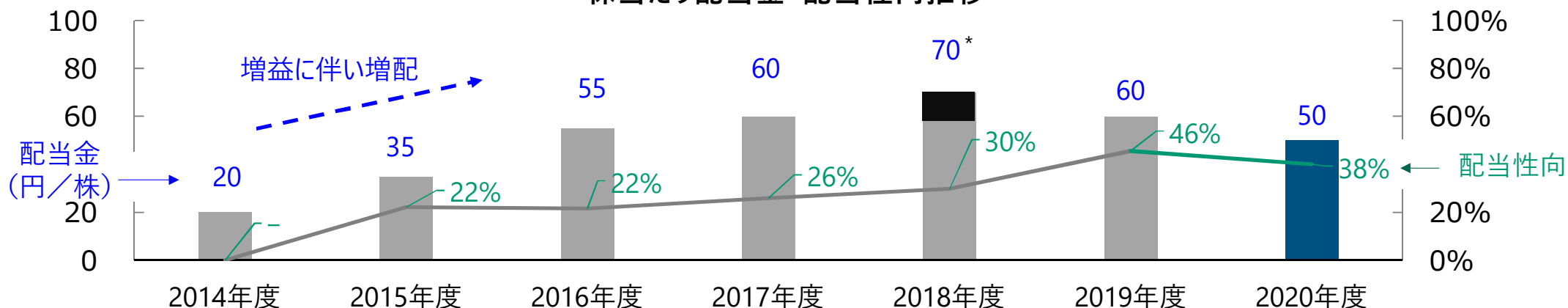
2020年度配当金見通し： 中間 25円/株（決定） 期末 25円/株 年間50円/株  
 （2019年度：中間 30円/株 期末 30円/株 年間60円/株）

中期経営計画における株主還元基本方針を踏まえ、COVID-19影響での利益水準の低下、財務状況、将来成長に向けた投資計画等を総合的に勘案し決定（配当性向の見通し：38%）

基本方針

「中期的な配当性向は当期純利益の30%」としつつ「安定的・継続的な配当」や「財務体質の健全性」にも配慮し配当を実施する

一株当たり配当金・配当性向推移



注) 2016年10月1日をもって普通株式5株を1株に併合。  
 配当金は株式併合の影響を踏まえて換算

\*100周年記念配当10円/株を含む

予想  
 中期計画  
 2020-2022



## ◆ 通期業績見通し [前年度対比、前回見通し対比]

	(億円)	19年度	20年度	差異	増減率	20年度	差異	増減率
		実績	見通し			前回見通し		
売上高		8,537	8,000	-537	-6.3%	7,500	+500	+6.7%
営業利益		562	500	-62	-11.0%	400	+100	+25.0%
経常利益		543	480	-63	-11.7%	400	+80	+20.0%
親会社株主に帰属する当期純利益		253	250	-3	-1.0%	200	+50	+25.0%
ROE <sup>*1</sup>		6.3%	6%	-0%		5%	+1%	
営業利益ROIC <sup>*2</sup>		8.7%	8%	-1%		6%	+2%	
EBITDA <sup>*3</sup>		1,072	1,020	-52		950	+70	
フリー・キャッシュ・フロー		263	60	-203		-	-	
設備投資 <sup>*4</sup>		686	700	+14		700	0	
減価償却費		510	520	+10		550	-30	
研究開発費		345	340	-5		-	-	

\*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本」にて算出

\*2 「営業利益÷投下資本\*」にて算出 \* 純資産+有利子負債-現金及び預金

\*3 「営業利益+減価償却費(のれんを含む)」にて算出

\*4 設備投資には無形固定資産を含む

## ◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前年度対比、前回見通し対比]

(億円)

	19年度	20年度	差異	増減率	(億円)	
	実績	見通し			20年度 前回見通し	前回見通し との差異
売上高						
高機能材料	2,364	1,950	-414	-17.5%	1,900	+50
複合成形材料	912	800	-112	-12.3%	700	+100
マテリアル 計	3,275	2,750	-525	-16.0%	2,600	+150
繊維・製品	3,063	2,950	-113	-3.7%	2,700	+250
ヘルスケア	1,539	1,500	-39	-2.6%	1,450	+50
IT	486	600	+114	+23.5%	590	+10
その他	174	200	+26	+15.2%	160	+40
合計	8,537	8,000	-537	-6.3%	7,500	+500
営業利益						
マテリアル	158	0	-158	-	-25	+25
繊維・製品	54	150	+96	+177.0%	95	+55
ヘルスケア	326	300	-26	-7.8%	290	+10
IT	78	100	+22	+27.8%	95	+5
その他	3	0	-3	-	0	0
消去又は全社	-58	-50	+8	-	-55	+5
合計	562	500	-62	-11.0%	400	+100

## ■ 前年度対比

- ・マテリアル : COVID-19影響で自動車・航空機関連用途を中心に販売量が大きく減少し、減収・減益の見通し
- ・繊維・製品 : 衣料繊維・産業資材共にCOVID-19影響を受けるが、医療用防護具（ガウン等）の効果が大きく増益見通し
- ・ヘルスケア : 医薬品の薬価改定影響が大きく減収・減益の見通し。「フェブリク」販売量や在宅医療機器のレンタル台数は堅調に推移
- ・IT : 電子コミック配信サービスは読者層の拡大が継続し増収・増益の見通し

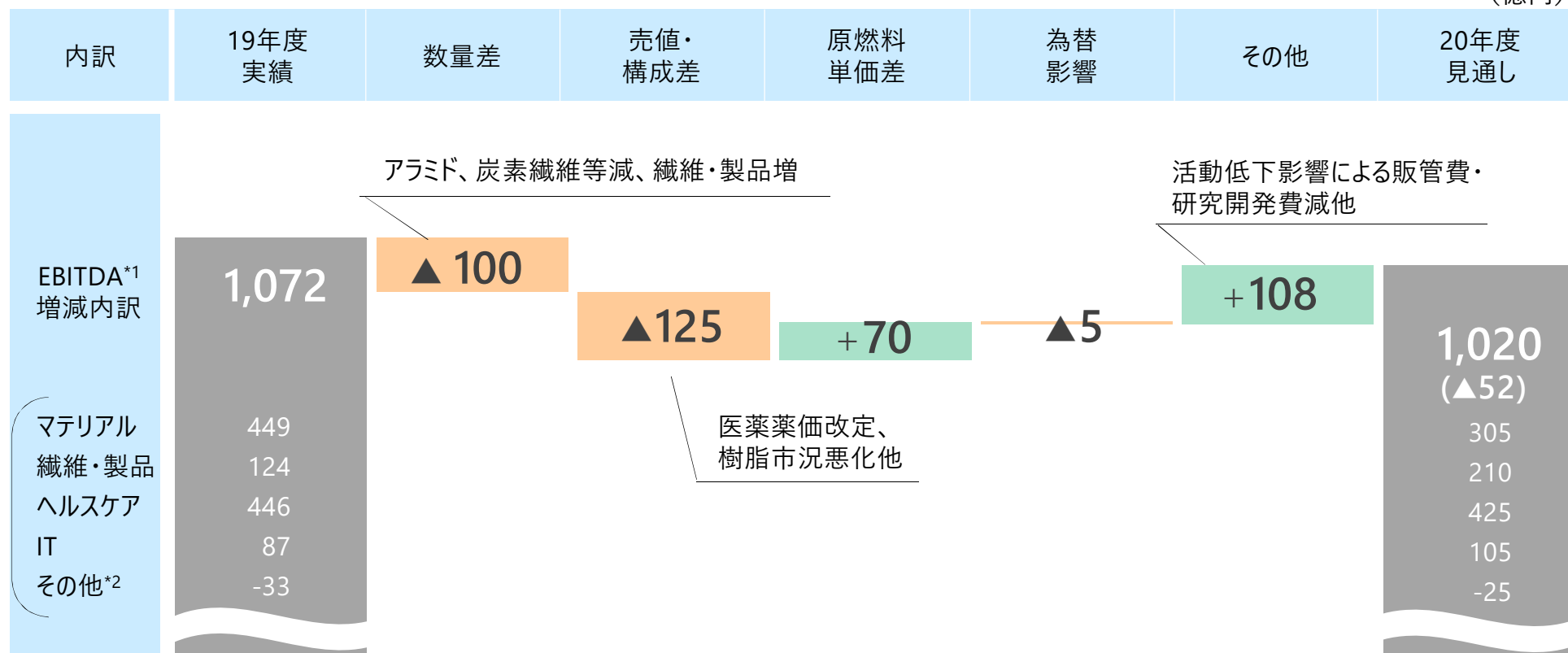
## ■ 前回見通し対比

- ・マテリアル : 航空機向けの悪化が見込まれるものの自動車関連用途で回復が早まり上方修正
- ・繊維・製品 : 医療用防護具（ガウン等）の想定を上回る供給により上方修正
- ・ヘルスケア : 活動レベル回復遅れによる費用減
- ・IT : 上期実績及び重点事業（電子コミック事業、ヘルスケア事業）の今後の見通しを踏まえ上方修正

## 2020年度業績見通し EBITDA増減要因（前年度対比）

- マテリアルのCOVID-19影響による自動車・航空機向け販売の減少やヘルスケアでの薬価改定影響が大きく、繊維・製品の医療用防護具（ガウン等）が貢献し、ヘルスケアが堅調でITも好調に推移するものの、EBITDAは減少の見通し

(億円)

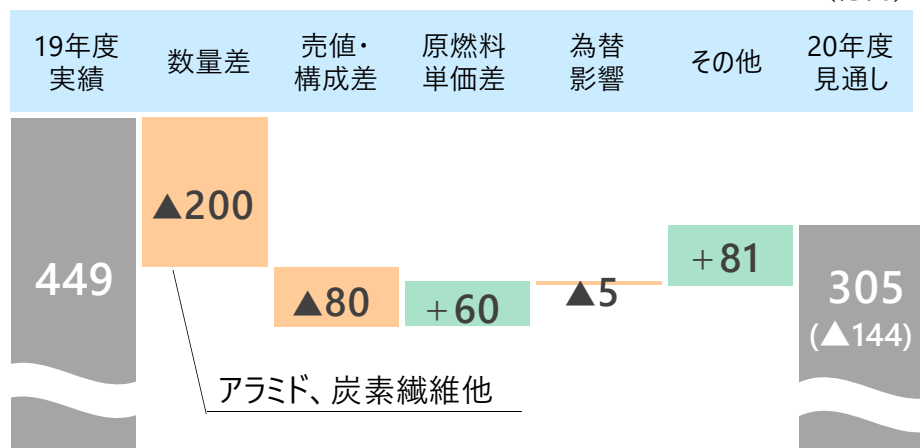


\*1 「営業利益 + 減価償却費（のれんを含む）」にて算出 \*2 その他はその他および消去又は全社の合計としている

## 2020年度業績見通し EBITDA増減要因（前年度対比）

## ■マテリアル

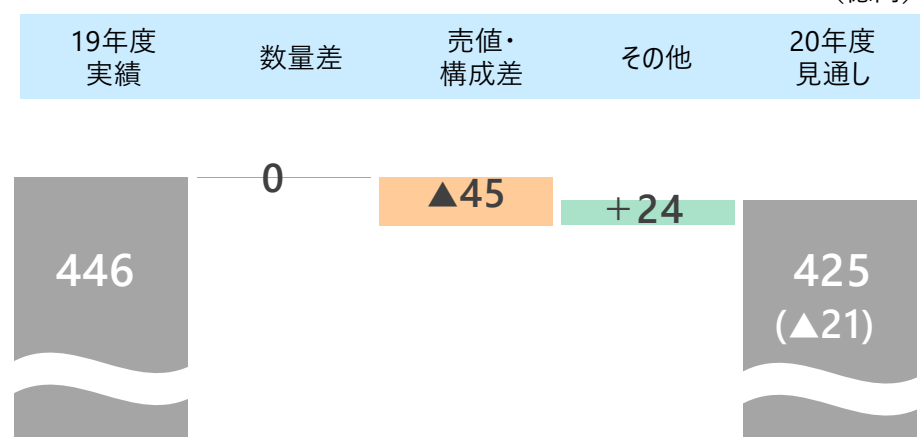
(億円)



- 数量差  
すべての分野（アラミド、樹脂、炭素繊維、複合成形材料）で需要低下により減少
- 売値・構成差  
樹脂は売値低下により、炭素繊維は販売構成悪化で減少、アラミドは維持
- 原燃料単価差  
原燃料単価下落により、すべての分野で増加
- その他  
販管費等削減による増加

## ■ヘルスケア

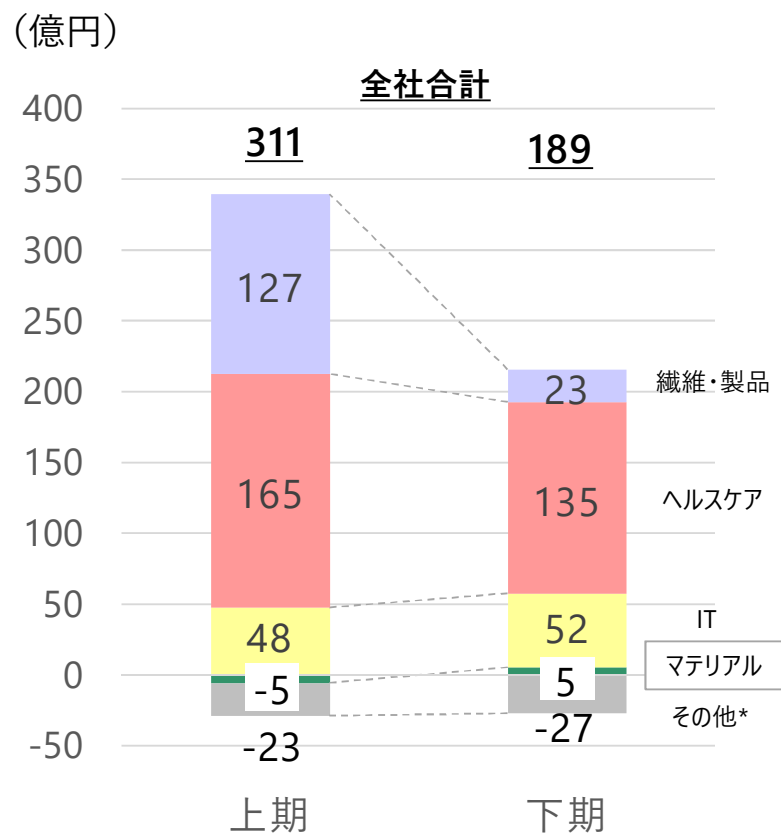
(億円)



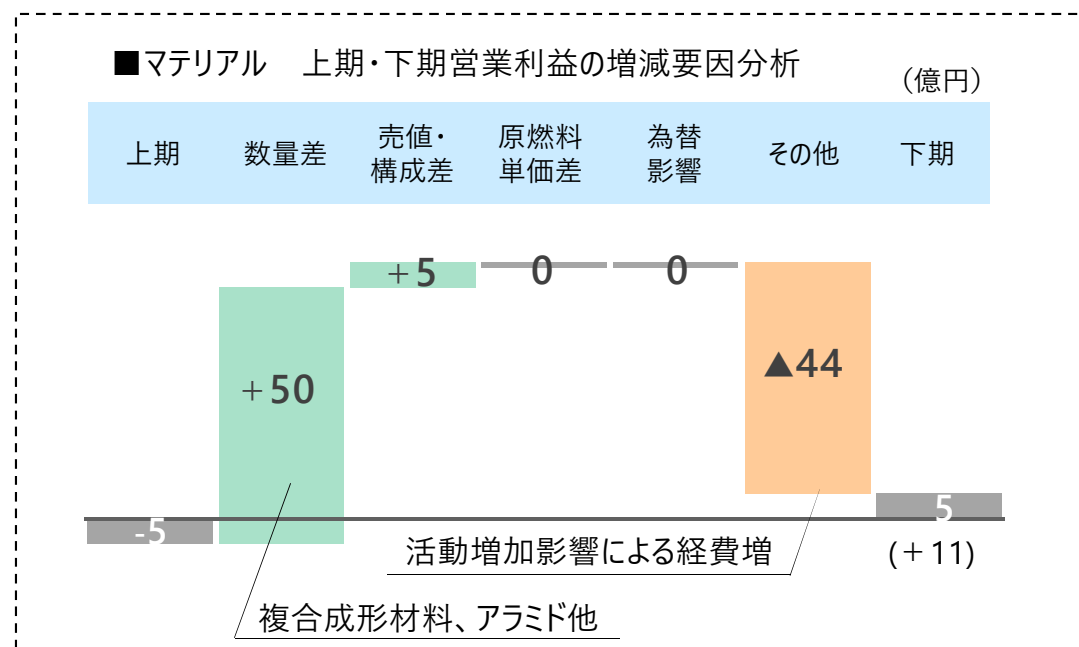
- 数量差  
国内：+40（「フェブリク」、在宅医療他で増加）  
海外：▲40（海外医薬後発品影響で減少）
- 売値・構成差  
薬価改定影響による減少、海外価格調整で増加
- その他  
活動低下影響による販管費・研究開発費減で増加

◆ セグメント別（上期・下期比較）

2020年度見通し営業利益  
（上期・下期）



- マテリアル：販売回復するも活動費用増・先行費用増あり
- 繊維・製品：上期医療用防護具（ガウン等）が貢献
- ヘルスケア：例年の傾向である経費の下期集中と活動増による費用増
- IT：好調継続



\* その他は「その他」および「消去又は全社」の合計としている

- ◆ 業績指標
- ・マテリアル事業がCOVID-19影響を大きく受け、EBITDAは前年度対比減少、ROEも低水準。一方、営業利益ROICは目標水準を維持の見通し
  - ・中長期の戦略的方向性は不変とするが、COVID-19影響から早期に脱却し、中期2022年度計数目標の達成に向けて、継続して対策を実行する

	前中期計画 「重点分野選択」	中期計画2020-2022 「成長基盤確立」	
	19年度実績	20年度見通し	中計最終年度 (22年度目標)
ROE <sup>*1</sup>	6.3%	6%	10%以上
営業利益ROIC <sup>*2</sup>	8.7%	8%	8%以上
EBITDA <sup>*3</sup>	1,072億円	1,020億円	1,500億円

\*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

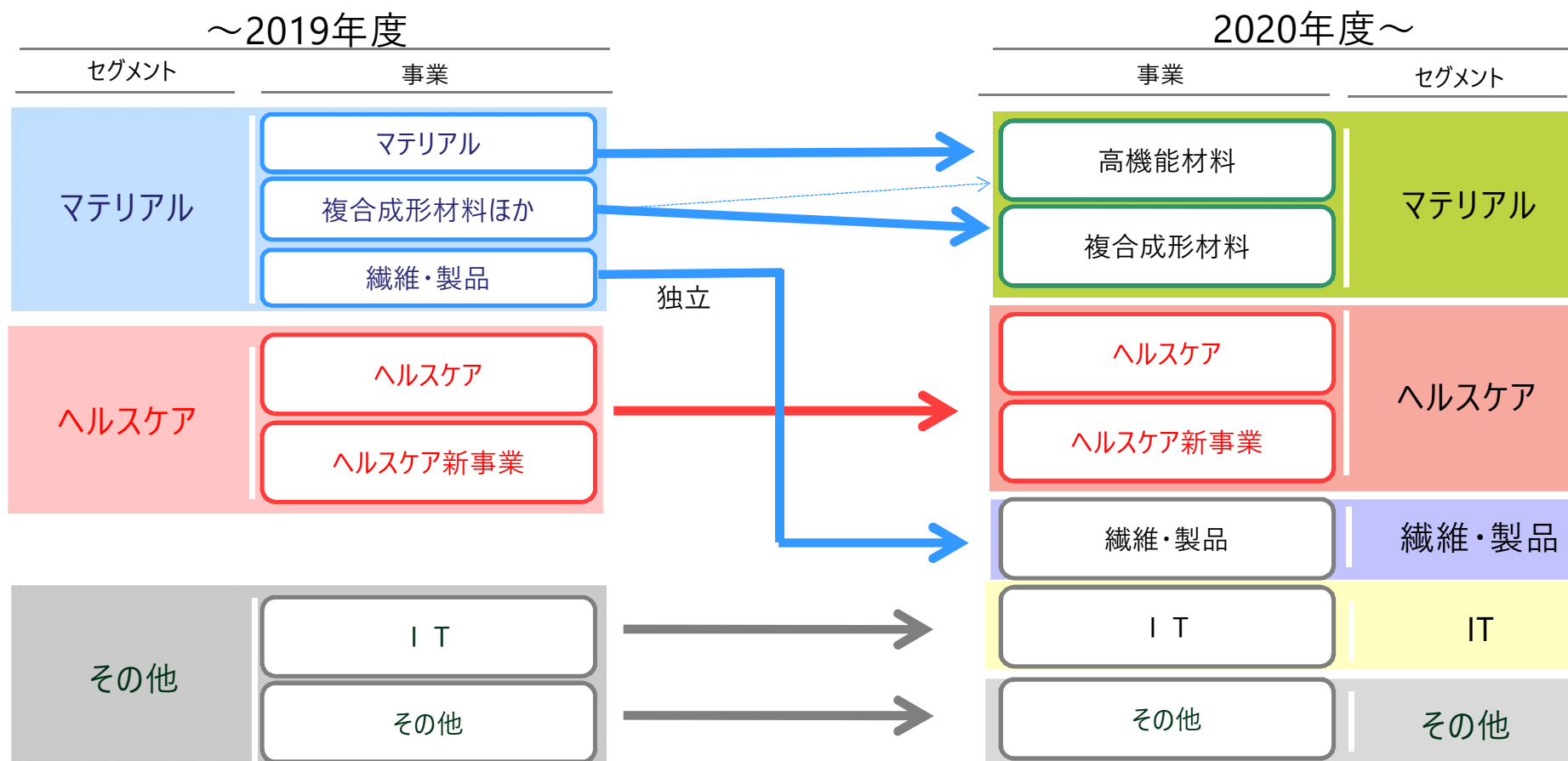
\*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本\*」にて算出 \*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金

\*3 「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

### 3. 参考資料

## 開示セグメントの変更

- 2020年度より、マテリアルセグメントから「繊維・製品」を、その他から「IT事業」を独立させた新セグメントへ



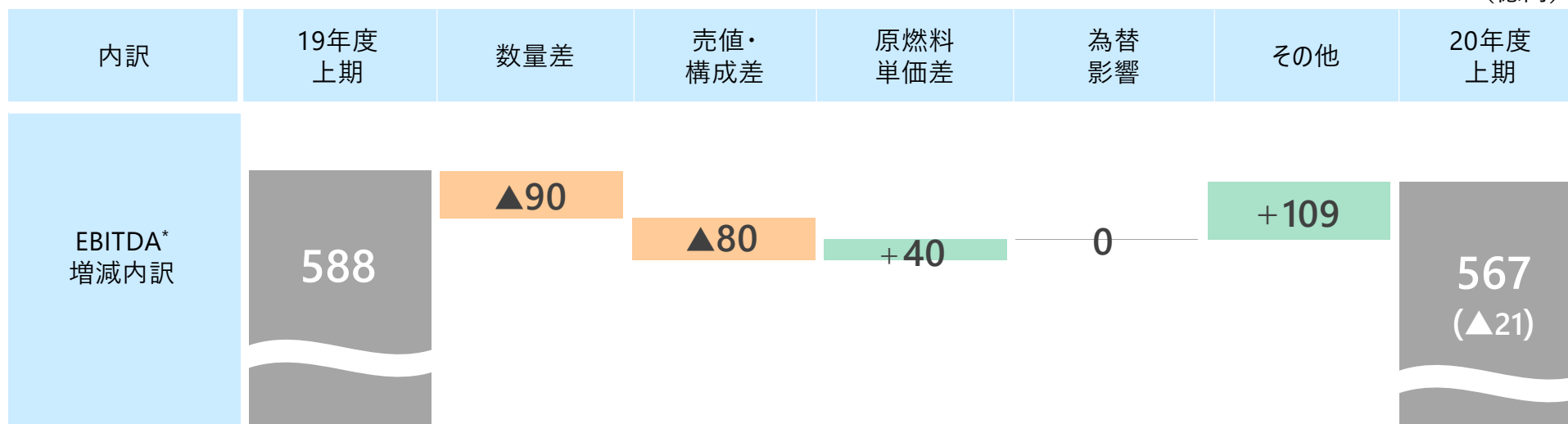


## ◆ EBITDA\*増減（連結合計） [前年同期対比]

（億円）

	19年度 上期	20年度 上期	差異	増減率
売上高	4,360	3,941	-419	-9.6%
EBITDA*	588	567	-21	-3.5%
減価償却費	251	257	+6	+2.4%
営業利益	338	311	-27	-7.9%
営業利益ROIC	10.1%	9.5%	-0.6%	

（億円）



\*「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出

## ◆ セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移 [前年同四半期対比 及び 直前四半期対比]

	19年度					20年度		差異	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q	20/2Q -19/2Q	20/2Q -20/1Q
売上高									
高機能材料	633	624	556	550	2,364	438	476	-148	+38
複合成形材料	228	231	229	224	912	101	248	+18	+147
マテリアル 計	861	854	786	774	3,275	539	724	-130	+186
繊維・製品	738	804	772	749	3,063	716	865	+60	+148
ヘルスケア	398	391	403	347	1,539	362	369	-22	+7
IT	109	122	112	143	486	135	150	+28	+15
その他	40	42	41	50	174	39	42	-0	+3
<b>合計</b>	<b>2,146</b>	<b>2,214</b>	<b>2,114</b>	<b>2,063</b>	<b>8,537</b>	<b>1,791</b>	<b>2,150</b>	<b>-64</b>	<b>+359</b>
営業利益									
マテリアル	56	46	29	28	158	-14	9	-37	+23
繊維・製品	10	18	14	12	54	51	76	+58	+25
ヘルスケア	105	89	97	34	326	87	78	-11	-9
IT	13	23	19	23	78	20	27	+4	+7
その他	-0	3	-1	2	3	-4	1	-2	+5
消去又は全社	-14	-11	-13	-19	-58	-14	-6	+5	+7
<b>合計</b>	<b>170</b>	<b>168</b>	<b>145</b>	<b>80</b>	<b>562</b>	<b>126</b>	<b>185</b>	<b>+17</b>	<b>+59</b>

## ◆ 連結損益計算書 四半期推移

	(億円)					
	19年度				20年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	2,146	2,214	2,114	2,063	1,791	2,150
売上原価	1,470	1,534	1,461	1,438	1,194	1,484
売上総利益	677	680	653	624	597	666
販管費	507	512	509	544	471	481
営業利益	170	168	145	80	126	185
営業外損益	-1	-6	-1	-11	-1	-7
(内 金融収支)	-1	-5	-4	-4	-1	-3
(内 持分法投資損益)	4	7	2	8	2	12
経常利益	169	162	144	69	124	178
特別損益	-18	-23	6	-93	-14	-11
税金等調整前四半期純利益	151	139	150	-24	110	167
法人税等	40	37	47	21	48	57
非支配株主に帰属する 四半期純利益	3	5	5	4	5	7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	108	97	97	-49	57	103

## ◆ 連結貸借対照表 四半期推移

	18年度			19年度				20年度	
	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産									
流動資産	5,465	5,227	5,239	5,116	5,255	5,280	5,053	5,026	5,131
固定資産	5,063	4,930	4,968	4,910	5,052	5,139	4,989	5,024	5,055
合計	10,528	10,157	10,207	10,026	10,307	10,419	10,042	10,049	10,185
負債・純資産									
負債	6,193	5,860	5,934	5,860	6,103	6,065	5,928	5,880	5,837
(内 有利子負債)	4,007	3,740	3,692	3,743	4,076	3,982	3,819	3,914	3,873
純資産	4,335	4,297	4,272	4,166	4,204	4,354	4,114	4,169	4,348
合計	10,528	10,157	10,207	10,026	10,307	10,419	10,042	10,049	10,185

(億円)

## ◆ セグメント別 売上高・営業利益 [前年度対比]

(億円)

	19年度実績			20年度見通し			差異		
	上期	下期	年間	上期	下期	年間	上期	下期	年間
売上高									
高機能材料	1,257	1,107	2,364	914	1,036	1,950	-343	-70	-414
複合成形材料	458	453	912	350	450	800	-109	-3	-112
マテリアル 計	1,715	1,560	3,275	1,263	1,487	2,750	-452	-73	-525
繊維・製品	1,542	1,521	3,063	1,581	1,369	2,950	+39	-152	-113
ヘルスケア	789	750	1,539	730	770	1,500	-59	+19	-39
IT	231	255	486	286	314	600	+55	+59	+114
その他	83	91	174	81	119	200	-2	+28	+26
合計	4,360	4,177	8,537	3,941	4,059	8,000	-419	-118	-537
営業利益									
マテリアル	102	57	158	-5	5	0	-107	-51	-158
繊維・製品	28	26	54	127	23	150	+99	-3	+96
ヘルスケア	194	131	326	165	135	300	-29	+4	-26
IT	36	42	78	48	52	100	+11	+10	+22
その他	3	1	3	-3	3	0	-6	+2	-3
消去又は全社	-25	-32	-58	-20	-30	-50	+5	+2	+8
合計	338	224	562	311	189	500	-27	-35	-62

## ◆ セグメント別経営指標 [前年度対比 及び 前回見通し対比]

(億円)

	19年度 実績	20年度 見通し	差異	20年度 前回見通し	前回見通し との差異
EBITDA <sup>*1</sup>					
マテリアル	449	305	-144	300	+5
繊維・製品	124	210	+86	155	+55
ヘルスケア	446	425	-21	420	+5
IT	87	105	+18	105	0
その他	13	10	-3	10	0
消去又は全社	-46	-35	+11	-40	+5
<b>合計</b>	<b>1,072</b>	<b>1,020</b>	<b>-52</b>	<b>950</b>	<b>+70</b>
営業利益ROIC <sup>*2</sup>					
マテリアル	5%	0%	-5%	-	-
繊維・製品	4%	11%	+7%	-	-
ヘルスケア	41%	35%	-6%	-	-
IT	49%	60%	+11%	-	-
<b>合計</b>	<b>8.7%</b>	<b>8%</b>	<b>-1%</b>	<b>6%</b>	<b>+2%</b>

\*1 「営業利益 + 減価償却費（のれんを含む）」にて算出

\*2 「営業利益 ÷ 期首・期末平均投下資本\*」にて算出

\*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金及び預金

## ◆ 主要経営指標推移

	15年度 実績	16年度 実績	17年度 実績 <sup>*6</sup>	18年度 実績	19年度 実績	20年度 見通し
ROE <sup>*1</sup>	10.6%	15.7%	12.5%	11.2%	6.3%	6%
営業利益ROIC <sup>*2</sup>	12.7%	10.0%	11.2%	9.3%	8.7%	8%
EBITDA <sup>*3</sup> （億円）	1,060	958	1,155	1,076	1,072	1,020
1株当たり当期純利益（円） <sup>*4</sup>	158.1	254.9	231.3	232.4	131.6	130.2
1株当たり配当金（円） <sup>*4</sup>	35	55	60	70 <sup>*</sup>	60	50
*100周年記念配当 10円／株を含む						
総資産（億円）	8,234	9,641	9,820	10,207	10,042	10,400
有利子負債（億円）	3,033	3,762	3,442	3,692	3,819	3,900
D/Eレシオ <sup>*5</sup>	1.01	1.11	0.88	0.90	0.97	0.9
自己資本比率	36.4%	35.1%	40.0%	40.2%	39.3%	40%

\*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

\*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本<sup>\*</sup>」にて算出

\*純資産＋有利子負債－現金及び預金

\*3 「営業利益＋減価償却費（のれんを含む）」にて算出

\*4 株式併合による株数の変化を反映したベースで記載

\*5 「有利子負債÷自己資本」にて算出

\*6 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を18年度から適用しており、17年度実績については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載

### 3. 参考資料

TEIJIN

#### ◆ 2020年10月までのニュースリリースまとめ

##### マテリアル

- 火星探査機の着陸用パラシュートにパラ系アラミド繊維「テクノーラ」を使用
- 世界初！耐久性が高く、環境に優しい超高分子量ポリエチレンフィルム製の漁網を開発
- Advanced Composites from CSP Make Better Battery Enclosures (CSP)
- 「TEIJIN MOBILITY ONLINE」を開催
- 航空機向け炭素繊維中間材料の展開 CFRTPが米・コリンズエアロスペース社の認定を取得
- Continental Structural Plastics, Inapal components reduce weight, complexity for new luxury SUV in Europe (CSP)
- 軽量化技術に関するグローバルプロジェクトに参画
- AIとマテリアルの融合により未来の社会を支える会社へ フローディア社への出資について
- 仏サフラン社と高機能複合材料の供給契約を締結



高機能漁網「MX-4」



TEIJIN MOBILITY ONLINE

##### 繊維・製品

- 植物由来ポリエステル繊維の採用拡大「プラントペット」がヤマトグループの制服に採用
- 災害対策や感染予防に向けて備蓄用寝具を販売開始
- 50回洗濯しても抗ウイルス効果が持続！「洗える！抗ウイルスマスク」を販売開始



◆ 2020年10月までのニュースリリースまとめ

ヘルスケア

- 人工靱帯の量産化に向けた資本・業務提携について
- 医療・介護多職種連携情報共有システムにおいて、オンライン会議サービスの提供を開始
- 新たなヘルスケア事業分野の展開を強化 株式会社ミルテルへの出資および業務提携契約の締結
- 「イヌリア」使用商品の機能性表示食品の届出が受理
- 感染症迅速診断キット向けウイルス濃縮デバイスの商業化へ 帝人と株式会社ビズジーンが資本・業務提携
- 訪問看護事業の本格展開に向けて新会社を設立
  - ・ 帝人グループは、持続可能な社会の実現に向けて、「少子高齢化・健康志向」へのソリューションを提供していくこととしており、地域密着型総合ヘルスケアサービスの創出はその柱の1つです
  - ・ 帝人ファーマは、当事業を独立させることにより、サービス利用者により高品質なケアを提供するとともに、医療機関・居宅介護支援事業所などときめ細かに連携し、地域包括医療体制の確立に貢献していきます

IT

- 医用画像システムをインドネシアで販売開始（インフォコム）
- 介護人材マッチング事業展開のシンガポール企業と資本業務提携 インフォコム、アジアヘルスケア・プロジェクトを推進（インフォコム）
- 二次元通信シートにより濃厚接触者の把握をサポート

## ◆ 主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	19年度					20年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
フェブリク®	高尿酸血症・痛風治療剤	99	100	105	82	386	87	89
ボナロン®*1	骨粗鬆症治療剤	25	24	24	21	94	21	21
ベニロン®	重症感染症治療剤	16	15	17	13	62	14	12
ソマチリン®*2	先端巨大症及び下垂体性巨人症、 膝・神経内分泌腫瘍治療剤	11	12	12	12	47	13	13
ムコソルバン®	去痰剤	9	8	10	7	34	6	5
ロコア®	経皮吸収型鎮痛消炎剤	6	5	6	4	21	5	6
ワンアルファ®	骨粗鬆症治療剤	4	4	4	3	15	3	3
オルベスコ®	喘息治療剤	3	3	3	3	12	3	3
ラキソベロン®	緩下剤	3	3	3	2	11	2	2
トライコア®	高脂血症治療剤	1	1	1	1	5	1	1

\*1 ボナロン®/Bonalon® はMerck Sharp &amp; Dohme Corp. (米)の登録商標です。

\*2 ソマチリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です。

## ◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2020年9月末現在)

\* 承認／新規上市は直近1年間を記載

	臨床開発段階				
	Phase I	Phase II	Phase III	承認申請	承認／ 新規上市*
骨・関節 領域	TCK-276*1			ITM-058*2 NT 201L*3	NT 201*4
呼吸器 領域		PTR-36			
代謝・循環器 領域		TMX-049 TMX-049DN TMX-67HK		ITM-014T*5	
その他		JTR-161	GGs-MPA*6		GGs-ON*7

\*1 2020年2月 関節リウマチの適応取得に向けた第I相試験に着手

\*2 2020年5月に「骨折の危険性の高い骨粗鬆症」に対する製造販売承認申請を実施

\*3 「ゼオマイン」の適応拡大として、2020年8月に「下肢痙縮」の適応追加に対する一部変更承認申請を実施

\*4 2020年6月に「上肢痙縮」に対する製造販売承認を取得

\*5 「ソマチュリン」の適応拡大として、2020年3月に「甲状腺刺激ホルモン産生下垂体腫瘍」の適応追加に対する一部変更承認申請を実施

\*6 「ベニロン」の適応拡大として開発中

\*7 「ベニロン」の適応拡大として、2019年12月に「視神経炎の急性期（ステロイド剤が効果不十分な場合）」に対する適応追加の承認を取得

### 3. 参考資料

#### ◆ 新規開発医薬品 (2020年9月末現在)

##### 【承認取得/上市\*】

\* 承認取得/上市は直近1年間を記載

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GG5-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎の急性期 (ステロイド剤が効果不十分な場合)	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発： KMバイオロジクス社 (効能・効果追加) 2019年12月承認取得
NT 201 (インコボツリヌストキシンA)	上肢痙縮	A1型ボツリヌス毒素活性本体による筋弛緩作用により、上肢痙縮における骨格筋の緊張の緩和・改善が期待される。	注射	導入： 独メルツ社 2020年6月承認取得

### 3. 参考資料

#### ◆ 新規開発医薬品 (2020年9月末現在)

##### 【承認申請】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-014T (ランレオチド酢酸塩)	甲状腺刺激ホルモン 産生下垂体腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導 (直接的作用) や細胞栄養因子の分泌制御 (間接的作用) を介した作用により、甲状腺機能の正常化が期待できる。	注射	導入： 仏イプセン社 (効能・効果追加) 2020年3月承認申請
ITM-058 (アバロパラチド酢酸塩)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と安全性 (高カルシウム血症のリスク低減) が期待できる。	注射	導入： 仏イプセン社 2020年5月承認申請
NT 201L (インコボツリヌス トキシンA)	下肢痙縮	A1型ボツリヌス毒素活性本体による筋弛緩作用により、下肢痙縮における骨格筋の緊張の緩和・改善が期待される。	注射	導入： 独メルツ社 (効能・効果追加) 2020年8月承認申請

## ◆ 新規開発医薬品 (2020年9月末現在)

## 【Phase III】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GGS-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害 (多発性単神経炎) を改善することが期待される。	注射	共同開発： KMバイオロジクス社 (効能・効果追加)

## ◆ 新規開発医薬品 (2020年9月末現在)

## 【Phase II】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序 (CRTh2拮抗作用) によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果 (軽症患者) や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果 (軽症～重症の患者) が期待される。	錠剤	導入： 米GB001社
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049DN	2型糖尿病における糖尿病性腎臓病	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規糖尿病性腎症治療薬として、腎症の進展抑制が期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-67HK (フェブキソスタット)	小児の痛風・高尿酸血症	痛風・高尿酸血症の小児患者に対する、フェブリク®の適切な用法・用量を設定する。 本剤の強力な尿酸生成抑制効果により、小児患者の血清尿酸値を適正な値に改善・維持することが期待される。	錠剤	自社開発品 (効能・効果追加)
JTR-161	急性期脳梗塞	健康な日本人の抜歯体から単離した歯髓由来細胞を原材料とする他家ヒト細胞加工製品。骨髄などに比べて細胞採取時の侵襲性が低く、国内で細胞ソースが調達できることが特徴。 免疫調整因子産生による炎症抑制、栄養因子産生による臓器保護・再生促進などの効果が期待される。	注射	共同開発： JCRファーマ社

## ◆ 新規開発医薬品 (2020年9月末現在)

## 【Phase I】

開発コード (一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TCK-276	関節リウマチ	関節リウマチに特徴的なパンプス増生の主要細胞である滑膜線維芽細胞に直接作用して増殖を抑制することで抗リウマチ効果が期待される新たなクラスの経口治療薬。	錠剤	自社開発品



## ◆ 非財務情報 ESG外部評価

## GPIFの4つのESG指数全ての構成銘柄に採用

帝人は、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資の運用にあたって選定する「FTSE Blossom Japan Index」、「MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」、「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」「S&P/JPXカーボンエフィシエント指数」の4つの指数全ての構成銘柄となっています。



FTSE Blossom  
Japan

2020 CONSTITUENT MSCIジャパン  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2020 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



（注） MSCIインデックスへの帝人株式会社の組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

## ESG関係に優れている株式銘柄として2つのプログラムに選定

「なでしこ」

女性活躍推進



「ホワイト500」

健康経営推進



**TEIJIN**

*Human Chemistry, Human Solutions*